

建設経済情報「速報値」(12月報告)

平成20年12月12日
企画部 技術管理課

< 東北地方の現況と見通し >

鉱工業生産指数は2.5%低下、有効求人倍率0.03ポイント低下など、日本銀行の地域経済報告が公表している様に、東北地域の景気は、弱めの動きが広がっている。

一方、公共工事請負金額の総額は東日本建設業保証㈱調べでは減少傾向にあると言われている。こうした中、20年11月は前年同月比0.0%と横ばいの687億円となった。

1. 東北地方の景気動向

20年10月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、101.5と前年同月比2.5%低下、有効求人倍率(季節調整済)は、0.54倍と前年同月比0.19ポイント低下。

20年11月の景気現状判断(DI)は、21.0と前年同月比13.3ポイント低下。

2. 建設業の動向

20年10月の建設工事受注金額は、前年同月比7.9%の減。

20年10月の建築物着工床面積は前年同月比21.2%の増、新設住宅着工戸数は前年同月比19.8%の増、建設労働需給不足率は0.2%と過剰傾向。

20年11月の全企業倒産は件数で前年同月比14.3%の減、負債額は前年同月比15.6%の減。

なお、建設業の倒産件数は12件(前年同月比50.0%減)、負債額は20億円(前年同月比0.9%減)と全産業で最多。

目 次

< 施工 >

公共工事請負金額	1
建設工事受注金額	3
建築物着工床面積	5
新設住宅着工戸数	7
20 年度事業費等見込み額	9

< 労働 >

建設労働需給の不足率	10
------------	----

< 倒産 >

企業倒産	11
------	----

< 景気 >

企業短期経済観測	13
----------	----

< 参考：主な経済指標 > 14

景気現状判断 (DI)

鉱工業生産指数

大型小売店販売額

消費者物価指数

有効求人倍率

完全失業率

輸出入額

施工

1. 公共工事請負金額（20年11月実績 東日本建設業保証）

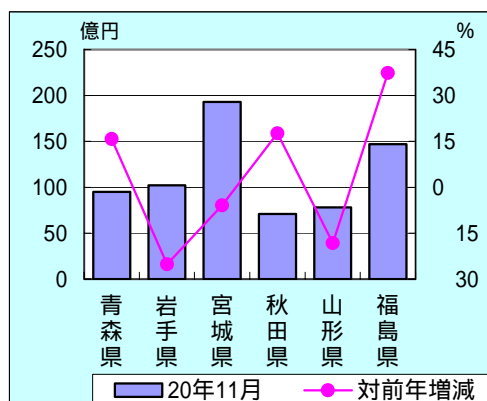
東北の公共工事請負金額計は、前年同月比で0.0%と横ばいの687億円となっている。

内訳は、独立行政法人等（30.5%減）国（16.4%減）が減少しているものの、地方公社（148.7%増）県（6.3%増）市町村（6.0%増）が増加となっている。県別の前年同月比では、岩手県（25.1%減）山形県（18.2%減）宮城県（5.9%減）が減少となっているものの、福島県（37.3%増）秋田県（17.6%増）青森県（15.8%増）が増加となっている。

公共工事請負金額

単位：億円 %

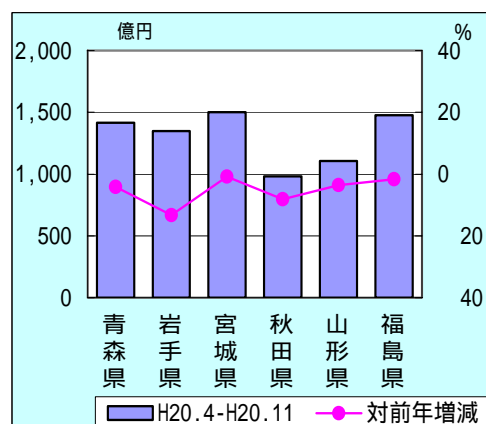
	20年11月	対前年増減
東北計	687	+ 0.0
青森県	95	+ 15.8
岩手県	102	25.1
宮城県	193	5.9
秋田県	71	+ 17.6
山形県	78	18.2
福島県	147	+ 37.3



公共工事請負金額年度内累計

単位：億円 %

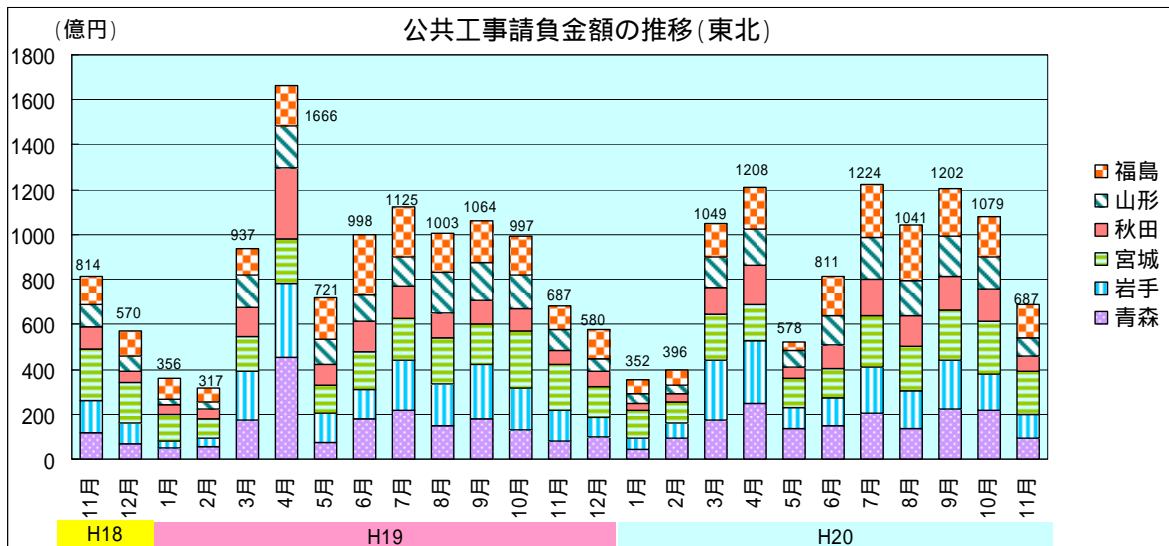
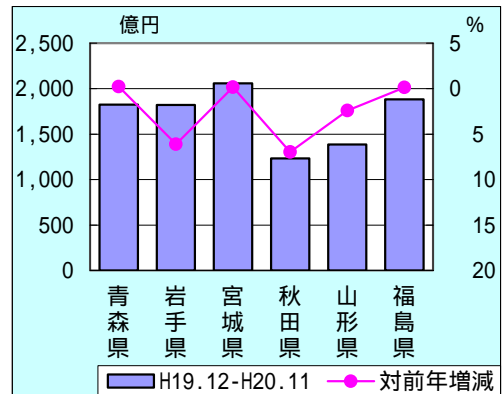
	H19.4-H19.11	H20.4-H20.11	対前年増減
東北計	8,261	7,830	5.2
青森県	1,477	1,416	4.1
岩手県	1,555	1,349	13.3
宮城県	1,513	1,501	0.8
秋田県	1,068	981	8.1
山形県	1,147	1,106	3.6
福島県	1,501	1,477	1.6



公共工事請負金額 1年累計

単位:億円 %

	H18.12-H19.11	H19.12-H20.11	対前年増減
東北計	10,442	10,207	2.2
青森県	1,821	1,825	+0.2
岩手県	1,938	1,820	6.1
宮城県	2,056	2,060	+0.2
秋田県	1,325	1,233	7.0
山形県	1,421	1,387	2.4
福島県	1,880	1,883	+0.1



2. 建設工事受注金額（20年10月実績 国土交通省）

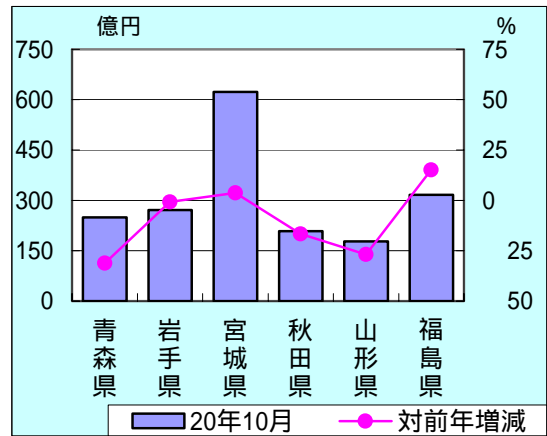
全国の受注高は4兆2,455億円で、前年同月比3.2%増となった。

東北は前年同月比で、福島県（15.1%増）宮城県（3.7%増）が増加となっているものの、青森県（31.1%減）山形県（26.8%減）秋田県（16.7%減）岩手県（0.8%減）が減少となり、全体で7.9%減の1,846億円となった。

建設工事受注金額

単位：億円 %

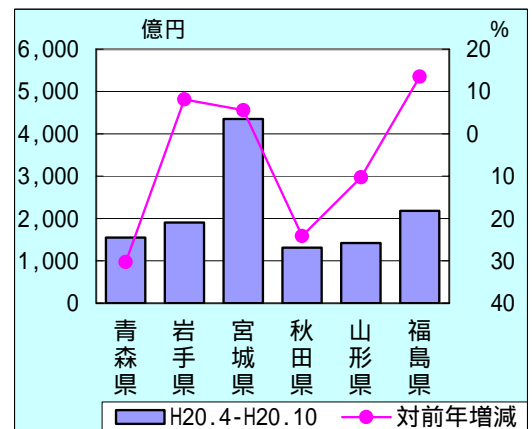
20年10月	受注高計	対前年増減
全 国	42,455	+ 3.2
東北計	1,846	7.9
青森県	249	31.1
岩手県	271	0.8
宮城県	623	+ 3.7
秋田県	208	16.7
山形県	178	26.8
福島県	317	+ 15.1



建設工事受注金額年度内累計

単位：億円 %

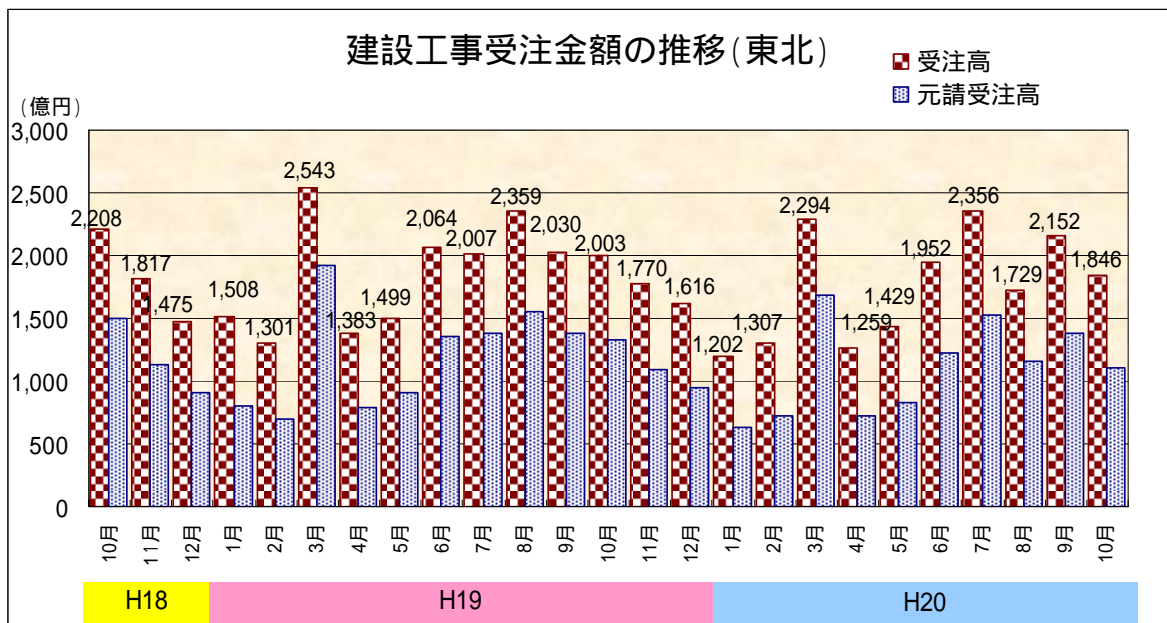
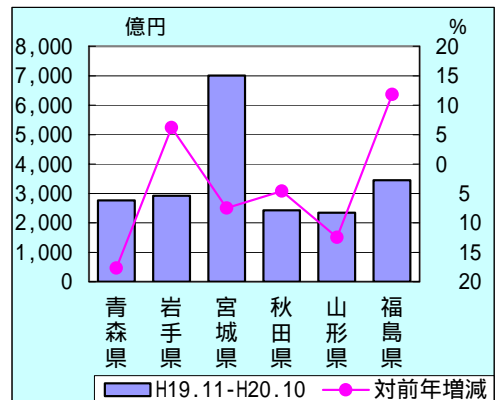
	H19.4-H19.10	H20.4-H20.10	対前年増減
全 国	308,446	290,687	5.8
東北計	13,345	12,723	4.7
青森県	2,231	1,555	30.3
岩手県	1,759	1,903	+ 8.2
宮城県	4,120	4,350	+ 5.6
秋田県	1,730	1,312	24.1
山形県	1,585	1,422	10.3
福島県	1,921	2,180	+ 13.5



建設工事受注金額 1年累計

単位:億円 %

	H18.11-H19.10	H19.11-H20.10	対前年増減
全国	528,938	511,255	3.3
東北計	21,989	20,911	4.9
青森県	3,355	2,762	17.7
岩手県	2,748	2,918	+6.2
宮城県	7,577	7,009	7.5
秋田県	2,541	2,424	4.6
山形県	2,679	2,345	12.4
福島県	3,088	3,453	+11.8



3. 建築物着工床面積 (20年10月実績 国土交通省)

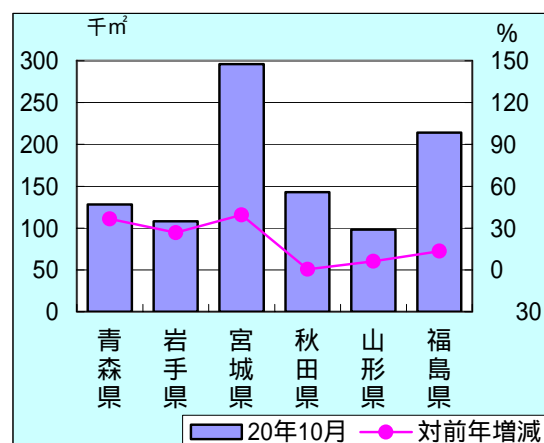
全国の建築物着工床面積は、前年同月比で、非居住用(28.8%増)、居住用(10.3%増)が増加したため、全体では16.7%増の12,878千㎡となった。

東北は前年同月比で、宮城県(39.3%増)、青森県(36.6%増)、岩手県(26.6%増)、福島県(13.5%増)、山形県(6.1%増)、秋田県(0.5%増)がいずれも増加しており、全体では21.2%増の987千㎡となった。

建築物着工床面積

単位:千㎡ %

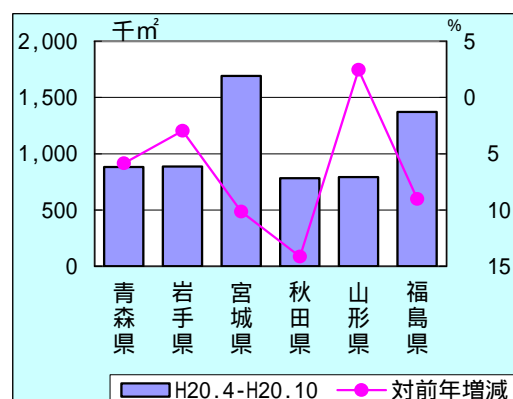
	20年10月	対前年増減
全 国	12,878	+16.7
東北計	987	+21.2
青森県	128	+36.6
岩手県	108	+26.6
宮城県	296	+39.3
秋田県	143	+0.5
山形県	98	+6.1
福島県	214	+13.5



建築物着工床面積年度内累計

単位:千㎡ %

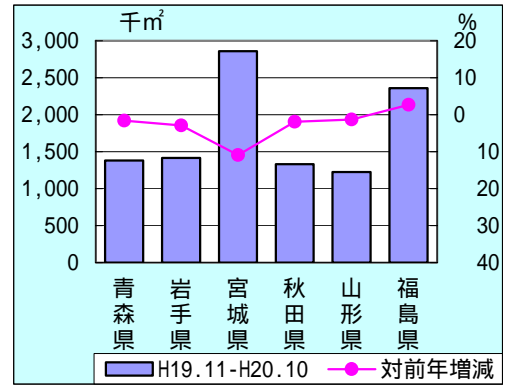
	H19.4-H19.10	H20.4-H20.10	対前年増減
全 国	94,615	97,179	+2.7
東北計	6,921	6,400	7.5
青森県	937	882	5.9
岩手県	914	887	3.0
宮城県	1,881	1,690	10.2
秋田県	911	782	14.2
山形県	772	791	+2.5
福島県	1,507	1,371	9.0



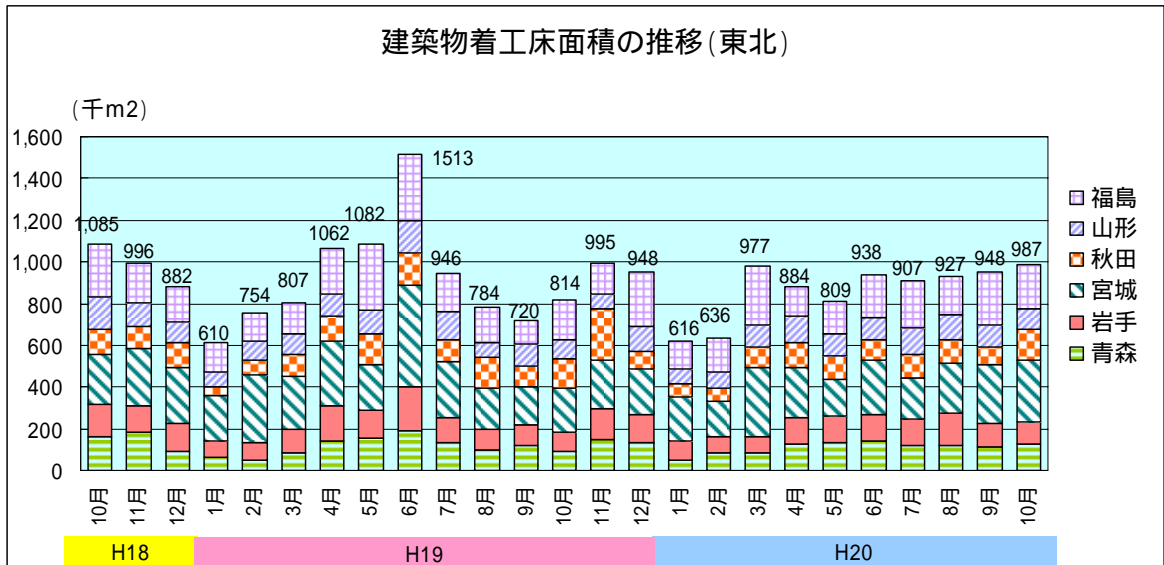
建築物着工床面積 1 年累計

単位:千㎡ %

	H18.11-H19.10	H19.11-H20.10	対前年増減
全 国	166,423	159,784	4.0
東北計	10,970	10,572	3.6
青森県	1,404	1,382	1.6
岩手県	1,459	1,417	2.9
宮城県	3,211	2,860	10.9
秋田県	1,357	1,331	1.9
山形県	1,243	1,227	1.3
福島県	2,298	2,360	+ 2.7



建築物着工床面積の推移 (東北)



4. 新設住宅着工戸数 (20年10月実績 国土交通省)

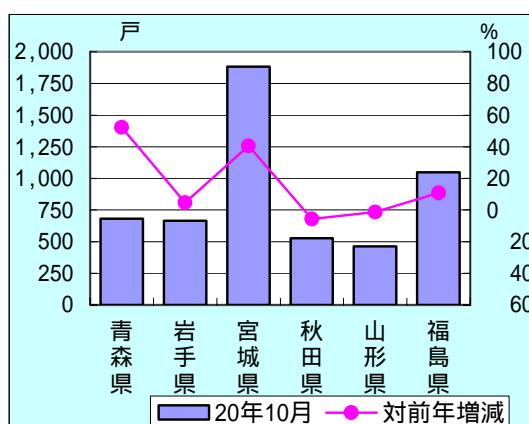
全国の新設住宅着工戸数は、前年同月比で持家(4.3%減)が減少したものの、
 給与住宅(51.7%増) 貸家(35.4%増) 分譲住宅(28.9%増)が増加したため、
 全体では19.8%増の92,123戸となった。

東北は前年同月比で、秋田県(5.7%減) 山形県(1.3%減)が減少となっているものの、
 青森県(52.2%増)、宮城県(40.6%増) 福島県(10.7%増) 岩手県(4.6%
 増)が増加となり、全体では19.8%増の5,265戸となった。

新設住宅着工戸数

単位:戸 %

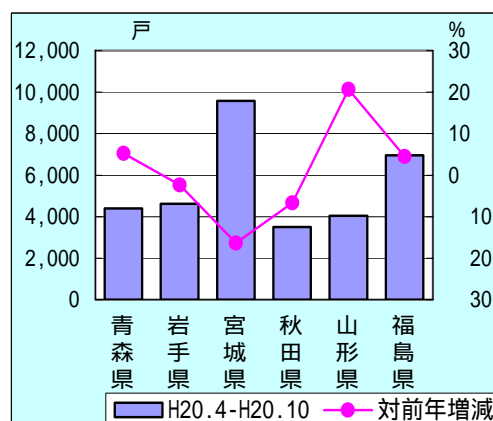
	20年10月	対前年増減
全 国	92,123	+ 19.8
東北計	5,265	+ 19.8
青森県	682	+ 52.2
岩手県	664	+ 4.6
宮城県	1,882	+ 40.6
秋田県	527	5.7
山形県	462	1.3
福島県	1,048	+ 10.7



新設住宅着工戸数年度内累計

単位:戸 %

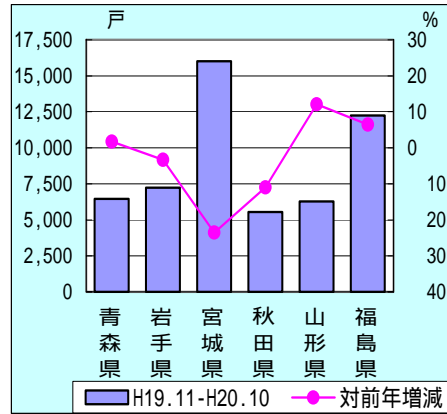
	H19.4-H19.10	H20.4-H20.10	対前年増減
全 国	610,208	673,087	+ 10.3
東北計	34,132	33,103	3.0
青森県	4,178	4,399	+ 5.3
岩手県	4,728	4,616	2.4
宮城県	11,469	9,590	16.4
秋田県	3,751	3,500	6.7
山形県	3,348	4,041	+ 20.7
福島県	6,658	6,957	+ 4.5



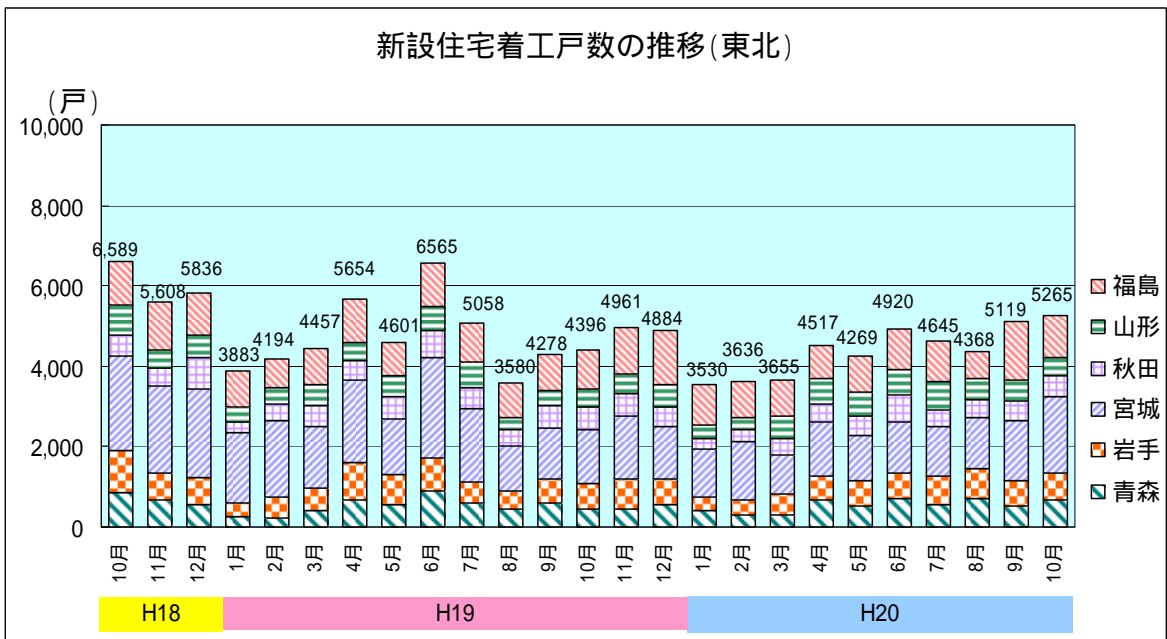
新設住宅着工戸数 1年累計

単位:戸 %

	H18.11-H19.10	H19.11-H20.10	対前年増減
全国	1,112,573	1,098,477	1.3
東北計	58,110	53,769	7.5
青森県	6,341	6,449	+1.7
岩手県	7,476	7,226	3.3
宮城県	20,953	16,016	23.6
秋田県	6,229	5,546	11.0
山形県	5,605	6,283	+12.1
福島県	11,506	12,249	+6.5



新設住宅着工戸数の推移(東北)



5. 20年度事業費等見込み額

(20年9月末見込額 公共事業施行対策東北地方協議会)

20年度における東北全体の事業費は1兆6,892億円、前年度同期比は2.7%減となっている。本工事費は1兆5,361億円、前年度同期比は1.0%増となっている。

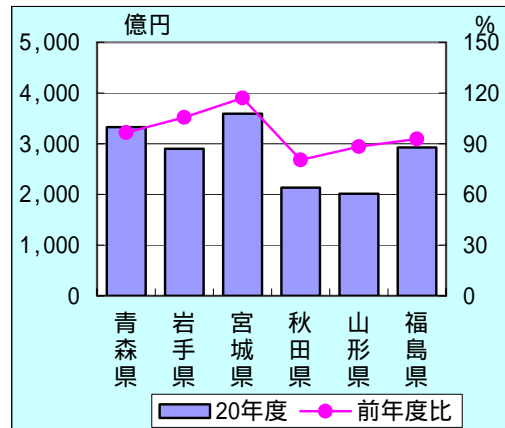
なお、上半期まで(4月～9月)の本工事費の発注実績額は、9,910億円となり、発注率は64.5%となっている。

20年度事業費等見込み額

1) 事業費

単位:億円 %

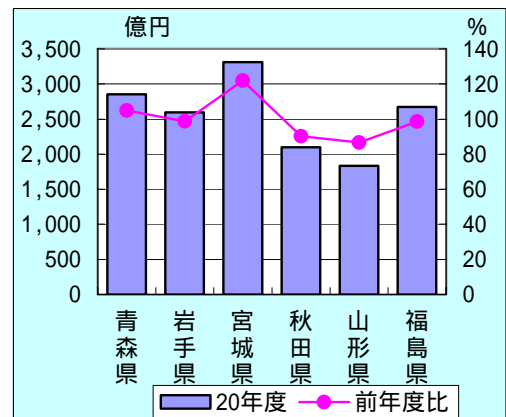
	20年度	19年度	前年度比
東北計	16,892	17,352	97.3
青森県	3,328	3,449	96.5
岩手県	2,900	2,750	105.5
宮城県	3,594	3,070	117.1
秋田県	2,134	2,654	80.4
山形県	2,012	2,280	88.3
福島県	2,923	3,150	92.8



2) 本工事費

単位:億円 %

	20年度	19年度	前年度比
東北計	15,361	15,213	101.0
青森県	2,853	2,723	104.8
岩手県	2,595	2,628	98.7
宮城県	3,312	2,715	122.0
秋田県	2,099	2,328	90.2
山形県	1,831	2,112	86.7
福島県	2,671	2,709	98.6



労働

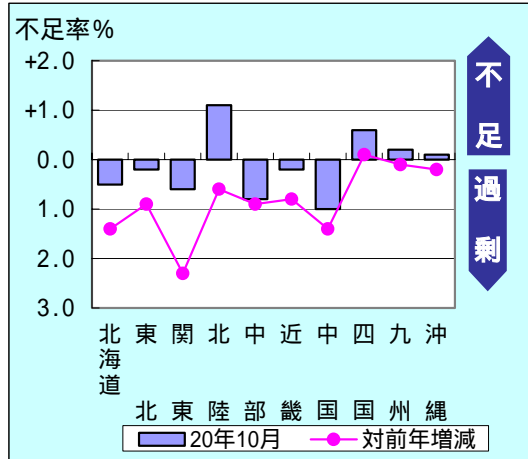
1.建設労働需給の不足率(20年10月調査 国土交通省)

全国8職種計の不足率(原数値)は、0.3%と過剰傾向となっている。

東北管内における不足率(原数値)は、0.2%と過剰傾向となっている。

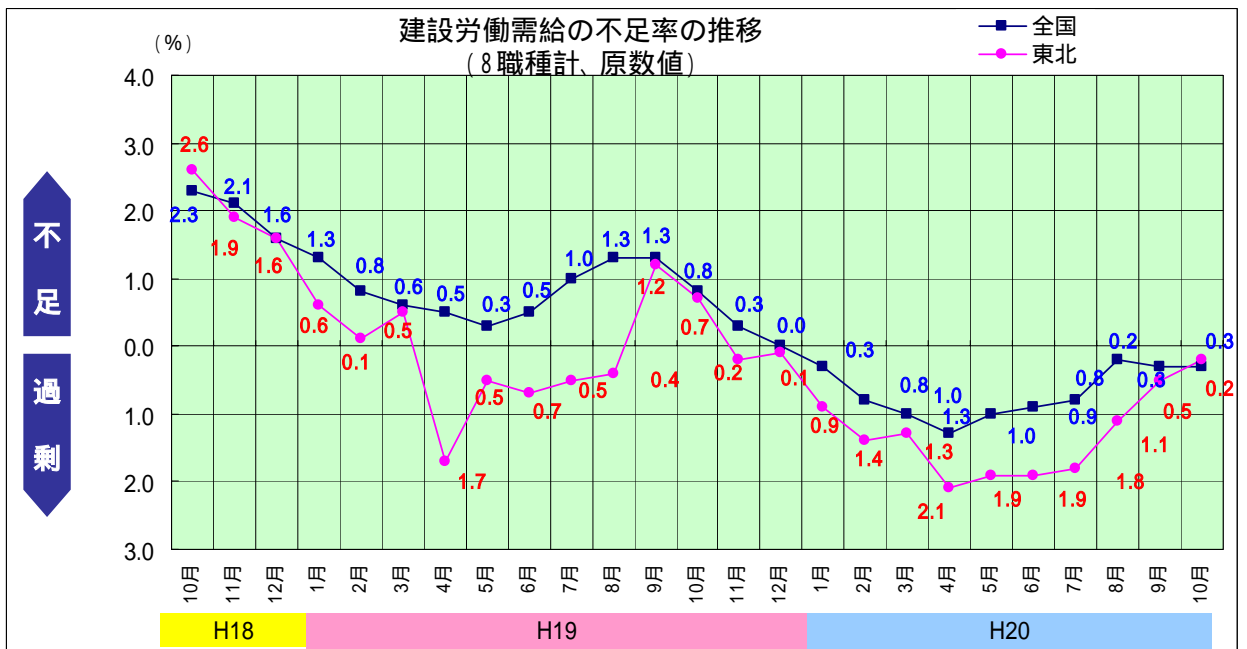
建設労働需給の不足率(8職種計。%)

	20年10月	対前年増減
全国	0.3	1.1
北海道	0.5	1.4
東北	0.2	0.9
関東	0.6	2.3
北陸	+1.1	0.6
中部	0.8	0.9
近畿	0.2	0.8
中国	1.0	1.4
四国	+0.6	+0.1
九州	+0.2	0.1
沖縄	+0.1	0.2



<備考>

- 1)年月欄のプラスは不足、マイナス(印)は過剰。原数値
- 2)対前年増減欄のプラス(+)は不足の方向へ、マイナス(印)は過剰の方向に変化。
- 3)8職種とは型枠工(土木、建築)、左官、とび工、鉄筋工(土木、建築)、電気、配管工。



倒産

1. 企業倒産（20年11月実績 負債総額1,000万以上 東京商工リサーチ）

東北の企業倒産状況は件数において前年同月比 85.7%の 48 件となっている。県別では、青森県（216.7%）が増加、岩手県（100.0%）、福島県（100.0%）が横ばいとなっているものの、宮城県（62.5%）秋田県（50.0%）、山形県（45.5%）が減少している。

負債額では、青森県（1,317.7%）、福島県（194.9%）、山形県（157.5%）が増加となっているものの、宮城県（58.7%）岩手県（46.1%）秋田県（12.2%）が減少しており、全体でも 84.4%と減少している。

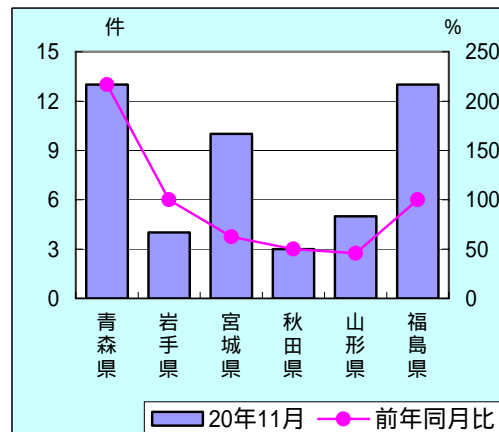
なお、建設業の倒産件数は前年同月比 50.0%となっており、全産業で最多の 12 件となっている。

企業倒産状況

1) 件数

単位:件 %

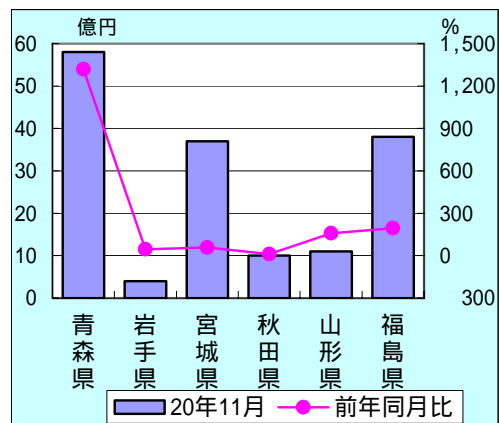
	20年11月	前年同月比
東北計	48	85.7
青森県	13	216.7
岩手県	4	100.0
宮城県	10	62.5
秋田県	3	50.0
山形県	5	45.5
福島県	13	100.0
東北計のうち 建設業	12	50.0

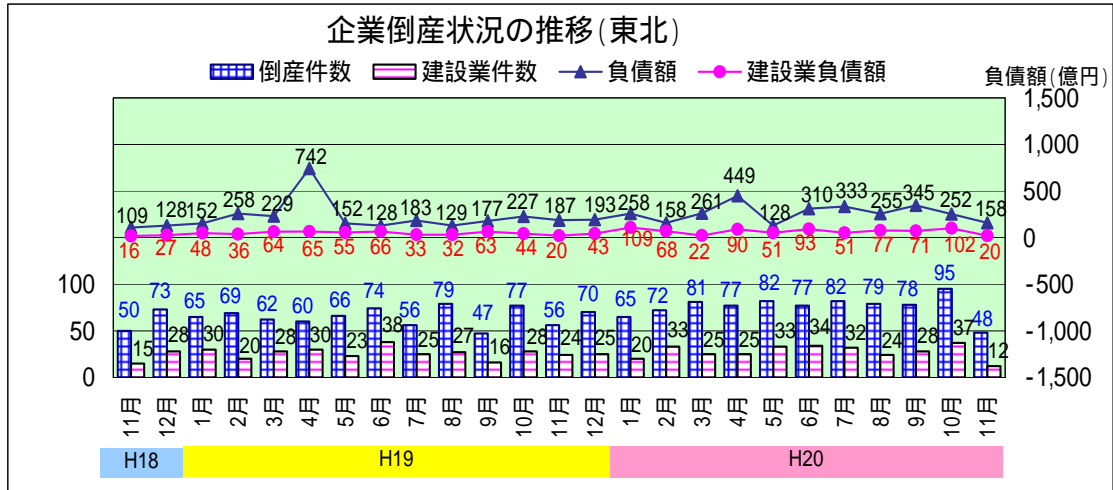


2) 負債額

単位:億円 %

	20年11月	前年同月比
東北計	158	84.4
青森県	58	1,317.7
岩手県	4	46.1
宮城県	37	58.7
秋田県	10	12.2
山形県	11	157.5
福島県	38	194.9
東北計のうち 建設業	20	99.1





企業倒産件数年度内累計

単位:件 %

	H19.4-H19.11	H20.4-H20.11	対前年増減
東北計	515	618	+ 20.0
東北計のうち 建設業	211	225	+ 6.6

企業倒産件数1年累計

単位:件 %

	H18.12-H19.11	H19.12-H20.11	対前年増減
東北計	784	906	+ 15.6
東北計のうち 建設業	317	328	+ 3.5

企業倒産負債額年度内累計

単位:億円 %

	H19.4-H19.11	H20.4-H20.11	対前年増減
東北計	1,925	2,230	+ 15.8
東北計のうち 建設業	378	555	+ 46.8

企業倒産負債額1年累計

単位:億円 %

	H18.12-H19.11	H19.12-H20.11	対前年増減
東北計	2,692	3,100	+ 15.2
東北計のうち 建設業	553	797	+ 44.1

景 気

1. 企業短期経済観測

〔東北地区6県。四半期毎(3、6、9、12月)日本銀行仙台支店〕

2008年9月調査が最新のデータとなっております。

1) 業況判断

製造業については、16と前回調査(12)に比べ4ポイントに悪化している。

- ・これを業種別にみると、紙・パルプ(0 33)、繊維(10 30)、輸送用機械(+25 0)などが悪化している。
- ・一方、木材・木製品(83 33)、精密機械(+20 +40)、鉄鋼(8 +7)などが改善している。

非製造業については、34と前回調査(33)に比べ1ポイントに悪化している。

- ・これを業種別にみると、飲食店・宿泊(46 61)、電気・ガス(35 47)、情報通信(34 43)などが悪化している。
- ・一方、リース(40 20)、建設・不動産(36 33)が改善している。

先行きは、製造業(16 20)、非製造業(34 37)ともに幾分悪化が見込まれている。

2) 売上高・経常利益

(1) 2008年度計画

製造業は、売上高は増収(前年度比+2.4%)計画となっているものの、経常利益は減益(前年度比-18.2%)を見込んでいる。

非製造業は、売上高は増収(前年度比+1.5%)計画、経常利益は減益(前年度比-1.0%)を見込んでいる。

3) 設備投資額

(1) 2008年度計画

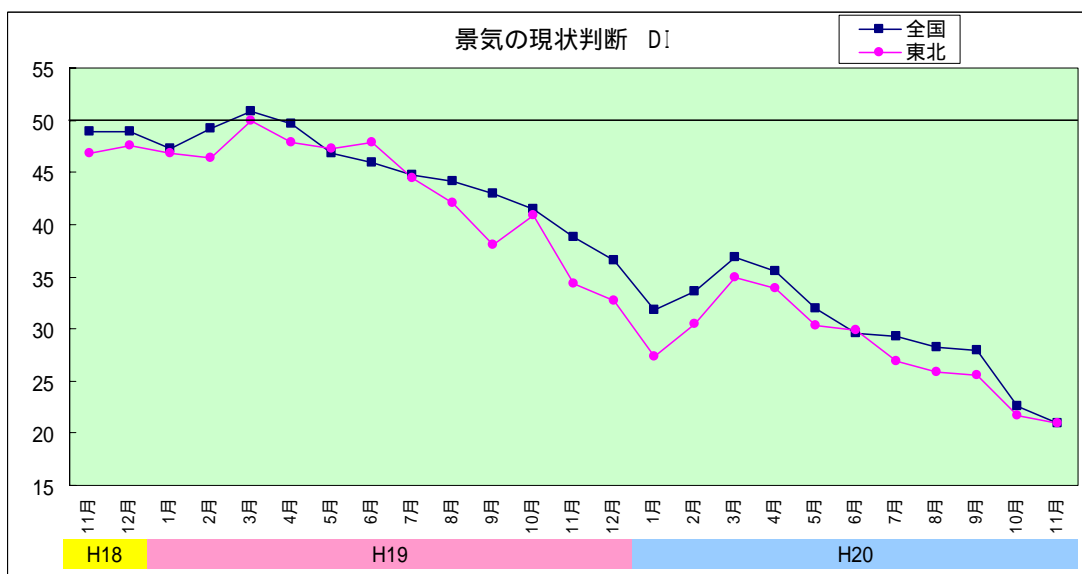
製造業は、前年度比27.2%の計画となっている。

非製造業は、前年度比1.4%の計画となっている。

主な経済指標

1. 景気現状判断 DI (20年11月 内閣府 景気ウォッチャー調査)

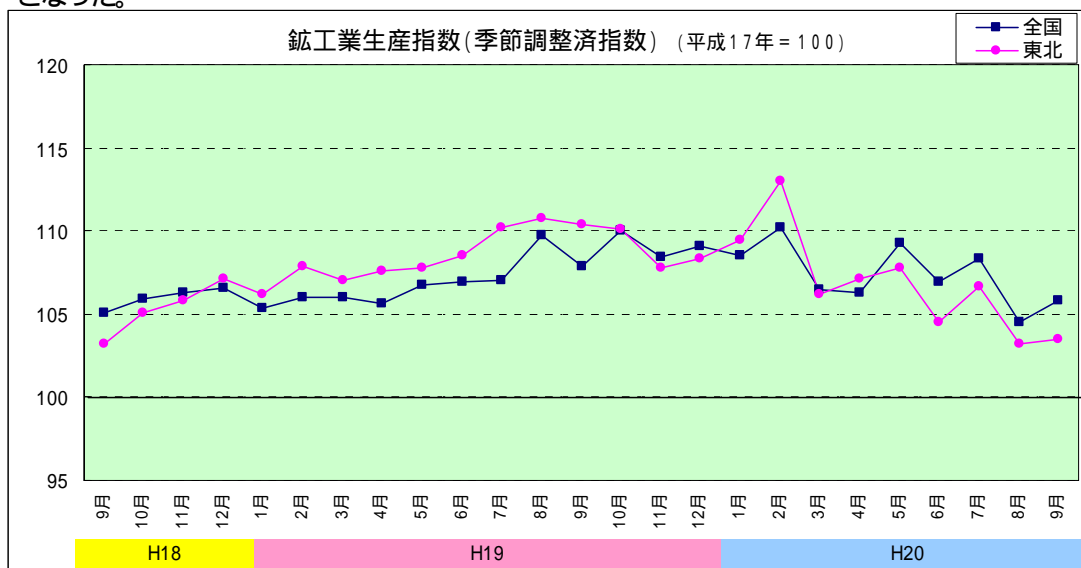
11月の現状判断DIは、21.0で前年同月と比較すると13.3ポイント低下、前月との比較では0.7ポイント低下している。



DIが50を上回れば景気は「良い」、下回れば「悪い」と判断できる

2. 鉱工業生産指数 (20年10月 東北経済産業局 東北地域鉱工業生産動向)

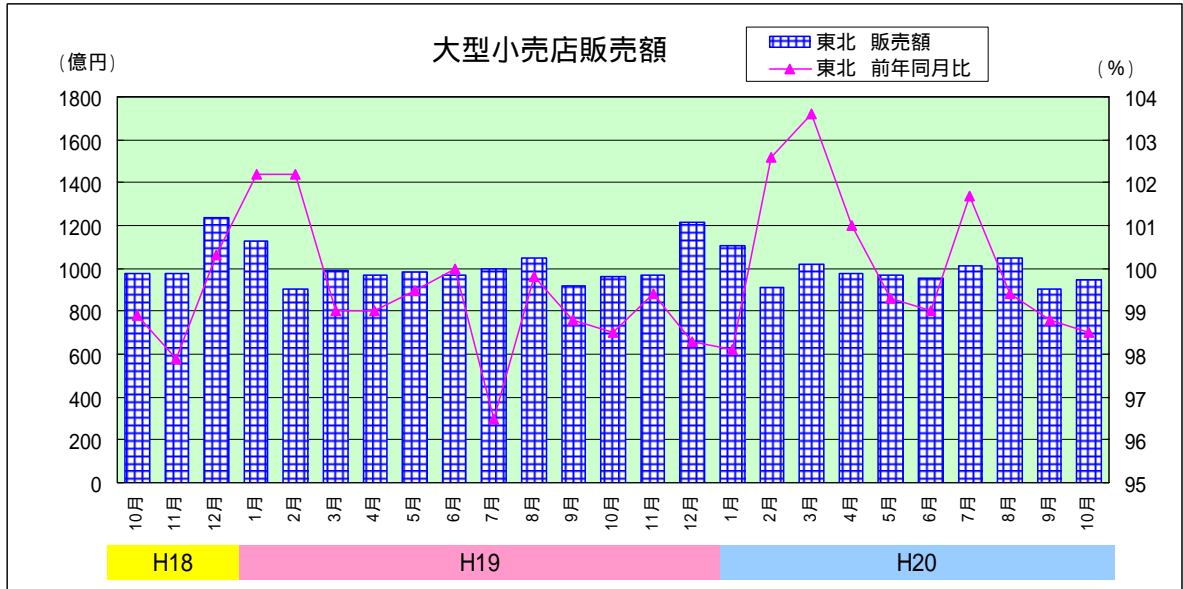
10月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、101.5(前年同月比2.5%低下)となった。



最新月の値は速報値
値は季節調整済み

3. 大型小売店販売額(20年10月 東北経済産業局 大型小売店販売額動向)

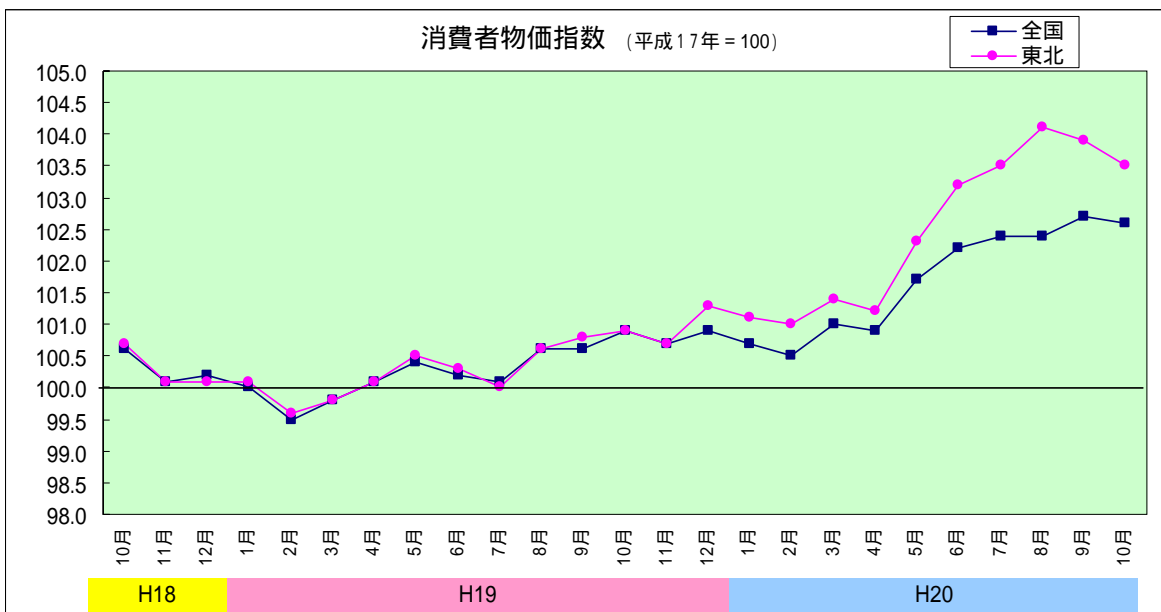
10月の大型小売店販売額は、全店舗ベースで前年同月比1.5%減となった。業態別では、百貨店は同7.9%減、スーパーが0.6%増となった。



値は全店舗ベース

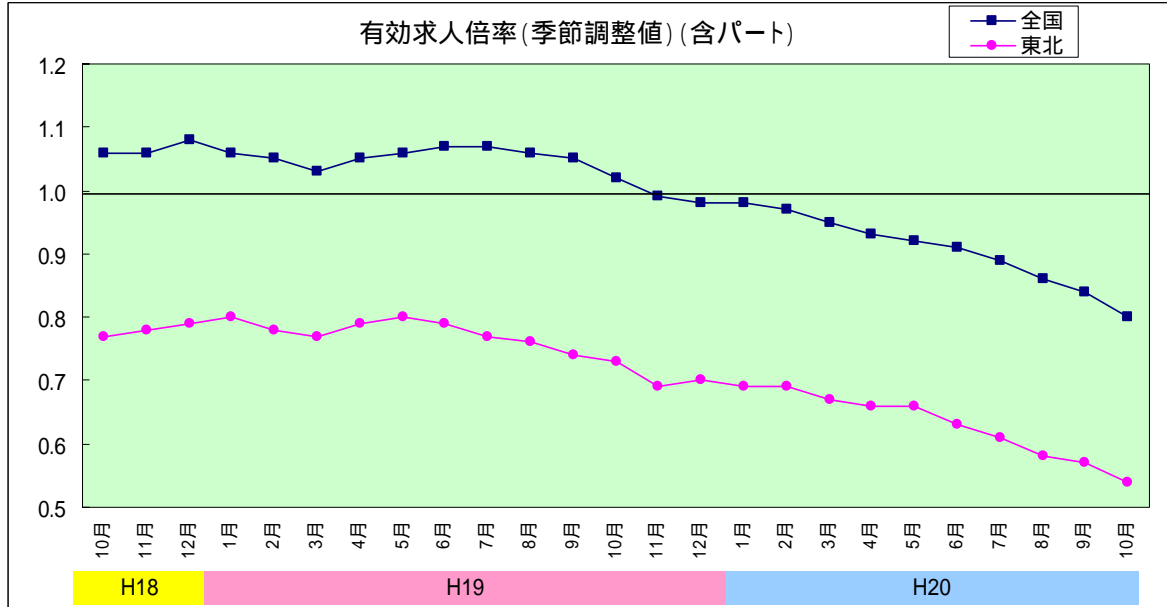
4. 消費者物価指数(20年10月 総務省 消費者物価指数)

消費者物価指数は、平成17年を100として103.5となり、前月比は0.4%の減少。前年同月比は2.6%の上昇となった。



5. 有効求人倍率(20年10月 厚生労働省 一般職業紹介状況)

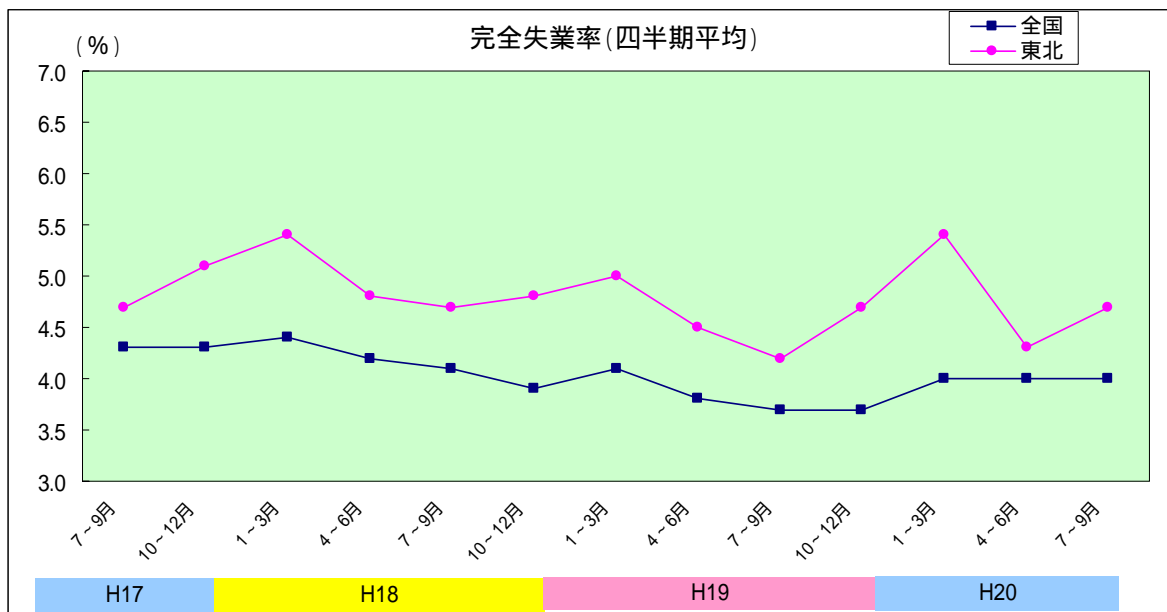
有効求人倍率は、0.54倍(季節調整値)と前月比0.03ポイント低下、前年同月比は0.19ポイントの低下となった。



値は季節調整済み

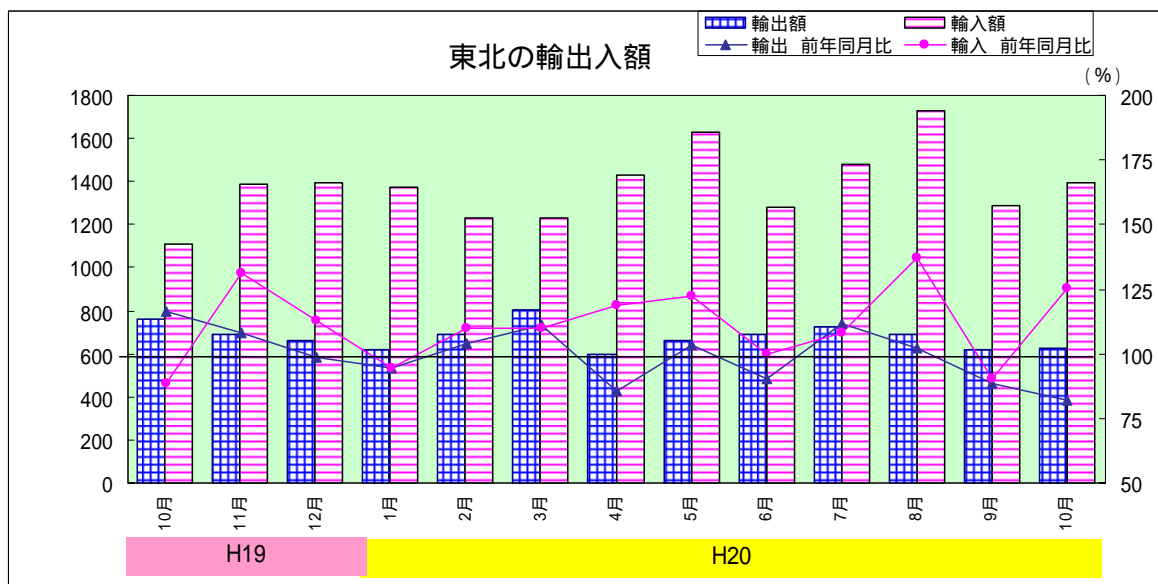
6. 完全失業率(20年7~9月期 総務省 労働力調査)

7~9月期の完全失業率(原数値)は4.7%で前年同期に比べ0.5ポイント増加し、悪化している。



7. 輸出入額(20年10月 横浜、東京、函館税関 貿易統計)

輸出は前年同月比82.2%の627.0億円、輸入では、前年同月比125.3%の1,392.3億円となり、輸入で前年同月を上回っている。



- ・値は全て速報値
- ・東北6県の港湾を対象